



「下丸子◇演劇ぶろじえくと」とは!?

演劇をもっと身近に!

地元のプロ劇団「山の手事情社」と大田区文化振興協会が取り組む3か年のプロジェクト。

1年目は演劇の「基礎的な稽古」を体験するワークショップを実施します。

演劇「1day出張ワークショップ」参加者募集

第1弾

大田区内の8つの施設にワークショップをお届けします! まずは1日お試し参加してみたいという方にオススメです。身体のふしぎな仕組みに気づく体操や、発声の基本をお伝えします。

募集概要

- 講師: 劇団山の手事情社 主宰・演出家 安田雅弘 ほか
- 時間: 13:30 ~ 16:30
- 参加費: 各回 500円
- 対象: 16歳以上(高校生以上)、軽い運動ができる方。*演劇経験は問いません。
- 募集人数: 各回 20人(応募多数の場合は抽選)
- 応募締切: 2016年8月19日(金) 必着
- 会場:
 - ・9/3(土): 池上会館「多目的ホール」
 - ・9/4(日): コミュニティセンター羽田旭「集会室A」
 - ・9/10(土): 大田区民プラザ「第1音楽スタジオ」
 - ・9/11(日): ライフコミュニティ西馬込「特別研修室」
 - ・9/17(土): 大田文化の森「第一スポーツスタジオ」
 - ・9/18(日): 萩中集会所「小体育室」
 - ・9/24(土): 大森スポーツセンター「小ホール」
 - ・9/25(日): 矢口区民センター「スポーツスタジオ」
- 応募方法: 裏面の「参加応募用紙」に必要事項をご記入のうえ、下記の要領でお申し込みください。

申込先・お問い合わせ

郵 送: 〒146-0092 東京都大田区下丸子3-1-3 大田区民プラザ内
 (公財)大田区文化振興協会 文化芸術振興課「演劇出張ワークショップ」係

窓 口: アプリコ、大田区民プラザ、大田文化の森の各窓口へご持参ください。

インターネット: 協会ホームページ <http://www.ota-bunka.or.jp/> →「お問い合わせ」→「応募フォーム」

F A X: 03-3750-1150 電話番号: 03-3750-1611

注意事項

- ・各回同じプログラムの内容を予定しています。
- ・18歳以下の方は保護者の承諾が必要になります。
- ・お申込はお1人様1通までとさせていただきます。
- ・ワークショップでは身体を動かしたり、大きな声を出すメニューがあります。

当日の服装・持ち物について

- 動きやすい服装(※1)でお越しください。飲み物、汗拭きタオル、内履き、筆記用具、メモ帳、靴下(※2)など。
- ※1 ジャージ等の運動着。ジーパン、スカートなどは不可です。
- ※2 ワorkshopのプログラム中で使用します。当日履いていない場合は持参してください。



【劇団山の手事情社 プロフィール】

1984年、早稲田大学演劇研究会を母体に結成。

以来、一貫して「演劇にしかできないこと」を追求する、実験的な作劇を展開。1993年・1994年には「下丸子[演劇]ぶろじえくと」に参加し、現代演劇を代表する舞台芸術集団として発展。1997年より現代人を制約された動きで表現する《四畳半》という演技様式に取り組み、近年海外での公演も多い。2013年に専用の稽古場及び事務所を大田区に移転。地域との連携も積極的に実施。代表作は、『タイタス・アンドロニカス』『オイディプス王』『道成寺』『女殺油地獄』など。



【安田雅弘 プロフィール】

演出家。劇団山の手事情社主宰。東京生まれ。

大学在学中に劇団を結成。以来ほとんどの作品を構成・演出。《四畳半》と呼ばれる演技・演出スタイルで現代演劇を様式化する作業は国内だけでなく、海外での評価も高まり、2012年にはルーマニアの国立劇場より委嘱を受け、演出。また、《演劇的教養》を広める活動にも力を注いでおり、多数の委嘱公演の演出、全国でさまざまなワークショップの講師、全国高等学校演劇大会・同地方大会などコンクールの審査員をつとめている。2013年ルーマニアのシビウ国際演劇祭より「特別功労賞」を受賞。

予告 **第2弾 演劇「体験ワークショップ」**

およそ3か月をかけて全10回のプログラムに取り組む本格的なワークショップ。終了後、発表の場を通して成果を披露します。

期間: 2016.11 ~ 2017.1 会場: 大田区民プラザ

→9月後半から協会ホームページ・チラシ等で募集開始!!